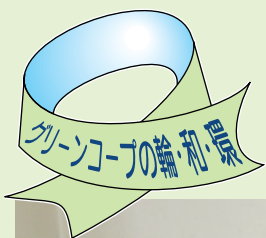




共生の時代

'09
7月

●発行:グリーンコープ共同体育理事会 ●編集:共生の時代・編集部 ●〒812-8561 福岡市博多区博多駅中央街8番36号博多ビル7階 TEL092(481)7923 FAX092(481)7876



グリーンコープ共同体第三期通常総会で
代表理事に就任した

田中 裕子 さん

プロフィール

佐賀市内で生まれ育つ。15年前から生協活動をはじめ。グリーンコープ生協さかの商品委員長6年・環境委員長2年を経て、2007年グリーンコープ生協さが第8代理事長に就任。家族は、夫と長女(大学1年・熊本市)、二女(高校2年)

普通の母親が協同して、グリーンコープの未来を創る

佐賀市内の国道を自転車で快走する。活動拠点である、さかの事務所に向かう時、最近はずっと田中さん。グリーンコープ共同体第三期通常総会で代表理事に就任したばかりだ。

何も分らず、流れに身を任せるようにグリーンコープにかかわったのは、長女が幼稚園に通いはじめた頃。設立して間もないさかの組合員活動はまだ混沌とした状態だった。すでに活動していた友人に「誘われるまま、子連れ」で生協活動の門をたたいた。あれよ、あれよという間に、地区委員、環境委員、理事など、活動の幅が広がっていった。「佐賀は女性の就業率が高いところ。出産後も働く人が多く、生協で活動する人は少なかったの、私のような駆け出しの人材でも大切に受け入れてもらえたのかもしれない」。当時は託児

などなかったが、子どもと一緒に活動は楽しかった。「最初は1年でもいいかな、と思っていました。こんなに続くとは!」。人間であること、母親であることが唯一の資格「のような生協の活動に終止符を打つことはなく、継続した活動の日々が今の自分につながっている。

グリーンコープが誕生して20年。多くの組合員がグリーンコープにかかわり、グリーンコープの中に豊かに「組合員主権」を築いてきた。その代表という大役を担うにあたって、田中さんは「めぐりあわせ」を感じたという。さかはグリーンコープの単協の中で決して大きな規模ではないが、設立22年の中堅の生協だ。今回理事長を代表理事として送り出すという「めぐりあわせ」に遭遇。さがにとっても大きな転機となり、副理事長をたてるなど田中さんを支える態勢を整えた。

グリーンコープは
せっけんの利用をすすめています



協同組合石けん運動連絡会2009年度シャボン玉月間ポスター
グリーンコープかごしま生協の職員尾曲直樹さんの作品が
選ばれました

Contents

ホームレス問題を考える 4	
人とつながってもう一度起きあがる	2
うちのメーカー・うちの生産者 ㊤	
丸永製菓(株) あいすまんじゅう	3
5.10さがストップ! プルサーマル人文字フェスタ グリーンコープ生協さが主催 原発学習会	
プルサーマルを許さない	4
グリーンコープのこだわりを魅せられて ～「はなわの食紀行」から見えるグリーンコープ～	5
グリーンコープ共同体第三期通常総会 グリーンコープ連合第十七期通常総会	
世界恐慌という荒波を「協同」と「連帯」の力で乗り越え 未来に生きる「グリーンコープ」をめざします	6・7
遺伝子組み換え問題の「今」を探る	8・9
～グリーンコープのこだわり再発見～	
グリーンコープは食品添加物をできるだけ使わない	10
2008年度 第4回酪農生産者交流会	
生産奨励金は生産者の支え	11

「私も自分の子どもに絶対弁当作っちゃう!」先日
の長女の発言。この春、大
学を卒業し自宅から仕事に
通う娘は夫と同様、私の作
る弁当を持参している。「お
くー(ニクネー)、弁当
やお金貯まるやろ?」
と同僚からうらやましがら
れているようだ。弁当持参
は娘だけらしい。勤務先は
商業施設なので土日の休み
はほとんどなく、そのおかげ
で私の弁当作りもお休み
なし。土日は特に忙しく休
憩時間も短くなるらしく「お

送 信

母さん、弁当はすごく助かる(笑)と娘に言われ嬉しくなり、早起きの弁当作りも苦にならない。そして冒頭の発言。私か子どもたちに、今していることは、その子どもたち(孫)にもつながっていく。私も母にしてみらったことを無意識のうちに子どもたちに行っていることに気付く。

さあ、明日の弁当のおかずは何にしようかな。

グリーンコープ生協おいた理事長
奥田 富美子

人とつながって

もう一度起き上がる

NPO法人北九州ホームレス支援機構にグリーンコープが連帯することで、ホームレス問題は急速に私たちの身近なものになってきています。ホームレス者は現在、全国で約15000人余（2009年厚生労働省調査）、福岡市には約1000人と言われています。ホームレス問題への取り組みをすすめる程、人がなぜホームレスになるのか、その実態が浮き彫りになってきています。「ホームレス」と「ハウスレス」の違い、「家族を含めた人と関係が切れる」ことが人を路上生活へと追いやってしまうという事実にも気付かされています。

北九州ホームレス支援機構は20年も前から「あんたも、わしもおんなじのち」とホームレス者に温かい手を差し伸べてきました。「再び人との関係をとりもどす」、その思想と行動により路上生活からもう一度身を起し自立を果たした人の数は北九州を中心に700人程にのびます。その中の2人に話を聞きました。

ホームレス問題を考える

4



「弱い者いじめ楽しかった」
7少年ホームレス襲撃

「襲撃された私は、もしかしたら加害者になったのだろうか」

Nさんは1950年生まれ、59歳。不自由のない子ども時代を過ごした。中学1年の時父親が病に倒れ、代わって母親が家計を支えるために生命保険の外交に出るようになる。Nさんは母親を自転車の後ろに乗せて家々を回る手助けをした。兄弟3人分の弁当も作った。そんな役回りだった。中学を卒業すると炭鉱で働き、そこにかげりが出はじめる。新天地を求めて大阪に出た。ちょうど20歳。華やかな万博で制服を着こなしガイドマンをした。それが人生で一番いい時だったと言う。ついで新潟や金沢などのトンネル掘り。これは2万円という高額の日当だった。その当時、

弟の私立大学の入学金30万円をボンと出したのもNさんだった。その後、福岡市の運送業関係で10年ほど働くが、再び大阪へ。42歳の時両親の介護のために、郷里に呼び戻された。言葉で言い尽くせないほどの介護の日々を送り、両親の三回忌を済ませ再び福岡市に働きに出てきた時は50歳になっていた。建築関係の仕事にしていたが、狭心症の発作を繰り返して、53歳頃には働けなくなった。兄弟とは些細な行き違いから連絡がとれなくなっていた。1年後には車検も切れ、そのままその車を福岡市東区の道路脇に停めて野宿生活に入った。車のシー

トをベッド代わりにし、ガスボンベで煮炊きもした。風呂は週2回ゴミ焼却場の無料のお湯に往復3時間かけて通った。やがて現金収入を得るため空き缶の回収もはじめた。そうした日々が一変したのは昨年秋だった。少年たち7人が襲撃してきた。10月に4回、おちおち寝ていられたかった。特に10月29日未明の襲撃はひどく、Nさんは肩を木製の棒で殴られ生卵十数個を投げつけられた。あまりの凄まじさに近くの工場の夜勤の人が警察に通報、事件となった。Nさんが記憶していたミニバイクのナンバーから少年たちの身元が割れる。逮捕された少年たちは「弱い者い

じめが楽しかった」と全員容疑を認めた。最年少は中学1年だった。「結果として、私は加害者になってしまったのではないか」とNさんは自らを責めてさえる。事件後7少年のうち1人だけが両親に伴われて謝罪にきた。「この両親はホームレスの私に一人の人間として向きあってくれた。ああ、この子は大丈夫だ」とNさんは思ったという。

事件は新聞にも報道され、福岡市でホームレス支援の準備をはじめていたスタッフの目に止まった。それがきっかけとなってNさんはホームレスを脱した。現在生活保護の支給を受け、何かできる仕事はないかと探している。

「センターはまるで実家のように…」

Mさんは1952年生まれ、57歳。2007年の11月、約8カ月の野宿生活の後に自立支援センター北九州（以下、センター）に入所した。それからちょうど1ヵ月たった12月10日、くも膜下出血をおこして緊急手術、危うく一命をとりとめた。その後療養しながら自立の準備をはじめ、2008年2月半ば、市内の食品製造業に就職。しばらくはようす見のためセンターから通勤。6月には晴れてセンターを退所しアパートに移った。勤めはじめて以来、無遅刻、無欠勤。真面目さをかわれている。朝が早い仕事のため毎日朝4時に起きる。現在は術後の不安感への対処と降圧剤の処方のため、精神科、脳神経外科と縁が切れないが、Mさんはすこぶる元氣だ。実はMさんには軽度の知的障

障がある。センター入所後に初めてそれが分かり、「療育手帳」を入手した。それによって、自他共にMさんの「それまで」を受け止めることができた。Mさんの人生の記憶は45歳で養子となるところから始まる。養母、10歳以上離れた姉、Mさんと同じく養子であったすぐ上の兄がやさしくしてくれ頼りだった。地元の工業高校の電気科を卒業後、職を転々とした。手先の器用さはあったものの、行く先々で差別的な処遇を受けたことは想像に難くない。だが裏表なく一心にこなす仕事ぶりが認められ、大切にしてくれるところもあった。最後に離職したのは、2007年1月だった。たちまち生活費に困るようになり、消費者金融から借金をするが、返すあては

ない。支えてくれていた姉は前年に亡くなっていた。金融業者の取り立てに追われ、ついに3月初め遺書を残してアパートを出る。その日から野宿生活。わずかな手持ちのお金も底をつき、7月初め、死に場所を求めて昔遊んだ公園へ。そこで出合いが待っていた。「兄ちゃん、わしらの話の輪に入らんか。想っている老人たちに声をかけられた。思いがけない優しい言葉。彼らと一緒に過ごすうちに、彼らの親切に報いるためにも生きたい、生き直したいと痛切に願うようになった。その公園は近隣の人からの情報で北九州ホームレス支援機構の巡回ルートに組み込まれた。訪れたスタッフから薬や食べもの、衣類の支援を受け、相談にものつてもらい、ついにMさんはセンター入所を決意する。

その決意表明が下記だ。そしてその言葉通りMさんは昨年再起を果たした。センターには遊びにも寄るが、主な目的はスタッフに管理をしてもらっている自分のお金を、月に3度ほど小出しにして受け取りに行くことだ。金銭管理が苦手なMさんにとって、こうしたアフターケアはとてもありがたい。スタッフはその折にMさんの健康状態を確かめている。

温かい眼差しのスタッフに支えられ、Mさんは「今が一番幸せ」と朗らかに言い切る。

時折Mさんは、軽口をたたきにセンターを訪れる。センターの戸口で「ただいま」と声をあげれば、みんなが「お帰り」と返してくれる。まるで実家に帰ったようでありそれが嬉しいという。

私くしは、早く仕事に付き自立して兄弟たちと
もとの生活を取りもどしたい。又、公園では、多くの
人たちがあつてくれました。その人たちに会うために
自分身がかわったことを見てもらいたい。

※ 2004年3月に策定された「北九州市ホームレス自立支援実施計画」（2004～2008年度の5年間）の中で、ホームレス対策の中心的施設として設置された。北九州市内のホームレスに宿泊場所や食事の提供などを行い、並行して職業相談などを通じてホームレスからの脱却を促す。居室はすべて個室。市やNPO法人などは北九州市ホームレス自立支援推進協議会をつくり、センターの運営や自立支援策の検討を行っている

本紙5月号2面「地域福祉を考えるシンポジウム」の記事に「ホームレス問題を考える2」のロゴが付いていませんでした。お詫びして訂正します

地域に根ざし、おいしい笑顔をお届けたい

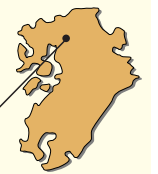
あいすまんじゅう



うちのメーカー

86

福岡県久留米市
丸永製菓(株)



うちの生産者

クリーミーなバナナアイスの中には、たっぴりの粒あんがぎゅっしり。そんな和菓子のようなアイスクリーム「あいすまんじゅう」が、グリーンコープやまぐち生協開発商品として2009年6月(カタログGREEN12号)から登場した。

製造しているのは、福岡県久留米市にある丸永製菓(株)。工場を訪問し、「あいすまんじゅう」のおいしさと安全性にかけるメーカーのこだわりを取材した。

あいすまんじゅうができるまで

主な原材料 小豆あん、乳製品、糖類



原料を混ぜたバナナアイスを梅鉢型に流し込む



固まりかけたバナナアイスの中に小豆あんを入れる



アイスの型にバーをさす



成型後、急速冷凍されたあいすまんじゅう

箱詰め

製造日などが正しく記載されているか、包材をチェック



本社久留米工場 工場長
玉井 浩之さん

「あいすまんじゅう」は、1963年に丸永製菓で作られて以降、40年以上消費者に支持されてきたロングセラー商品だ。「和菓子メーカーの得意技、あんこをアイスの中に入れてはどうか」「そのようなアイスはこれまでの常識では考えられない」など内部で検討を重ねた。その結果、羊羹の職人が小豆を炊いて作ったあんこをバナナアイスの中に入れて、バーをつけた。当時としては珍しい独創性のあるアイスクリームとして話題

になった。現在では全国に展開する程の人気商品に。その上、ヨーロッパの食品コンテスト「モンド・セレクション」を受賞した。

グリーンコープ仕様の「あいすまんじゅう」開発

丸永製菓の「あいすまんじゅう」がグリーンコープに登場するようになったのは、グリーンコープやまぐち生協の単協開発商品として提案されたことがきっかけだ。グリーンコープのアイスクリームのアイテムをもっとバラエティに富んだものに「それならあんこの入ったアイスがほしい」などの組合員の意見で、良質の北海道産小豆を使った粒あんが特長の、丸永製菓の「あいすまんじゅう」に白羽の矢が立った。市販用の「あいすまんじゅう」には、グリーンコープが認めていない添加物が含まれていたため、やまぐちはその点の改善に取り組んだ。丸永製菓は安定剤の中に入っていたカラギーナンを外した安定剤を特別に作って対応した。そうした検討の結果

果、「あいすまんじゅう」が誕生した。

「大人も食べたいと思えるアイス。グリーンコープらしい『あいすまんじゅう』ができました。やまぐちの商品委員会が自信を持ってすすめているアイスクリームができ上がった。

互いの成長があってもう一度出会った

実は、丸永製菓はかつてグリーンコープのアイスクリームを製造していたことがある。しかしながら当時の諸事情により、やまぐちグリーンコープ商品の製造から撤退した。今から9年程、前のことだ。

同時期、グリーンコープのアイスクリームは発泡スチロール製の箱に入れて組合員に届けられていた。当時の流通技術では発泡スチ



代表取締役社長
永瀬 俊毅さん

ロール製の箱では夏場の保冷が難しかった。

現在共同購入の配達では、冷凍品の箱にはドライアイスが入られ、かつて難しかった乳脂肪分の多いアイスクリームも紙箱での流通が可能になった。グリーンコープが組合員40万人という規模になったことで、今までできなかったことができるようになったことも大きい。

同時に、丸永製菓は工場の設備投資や人材育成による技術の向上をすすめ、衛生管理の徹底にも取り組んだ。「殺菌温度、時間の確認、抗体のチェックなど、衛生管理は徹底的にやっています。また、製品の品質を一定に保つため、各工程の時間、人、回数をチェックし、最終的には私自身が内容を確認しています」と工場長の玉井さんは自信を持って語る。こうして大量の生産にも対応できる体制を整えた。「あいすまんじゅう」は、メーカーとグリーンコープが時間を経て改めて出会ったことで実現したと言える。

「あいすまんじゅう」の形は、福岡県の花、梅をかたどった梅鉢型。地域の特産をアイスクリーム作りに生かしていることが分かる。地域の中に根ざしたいという姿勢が表現された一品だ。

また、カンボジアへの義足の支援など、社会貢献にも積極的だ。久留米市で毎年開催されるウォーキング大会「くるめつじマーチ」では、参加者にアイスクリームを提供、そこでカンボジア支援の募金を呼びかけている。集まった義援金を赤十字社とおして、地雷で足を失った人々へ義足を作るために贈っている。

「アイスクリームを食べる時、人はみんな笑顔。だから幸せな時間を提供できるアイスを作っていきたい」と社長の永瀬さんは言う。その思いが、社会に貢献することにもつながっている。これからも丸永製菓は地域に根ざし、そして世界を見つめながら、アイスクリームをおして、みんなに笑顔をお届け続ける。

食をもって社会貢献を

脱原発学習会
グリーンコープ
生協さが
主催

プルトニウム利用は 負の遺産を残すだけ

講師 小出 裕章さん

破綻した核燃料サイクルと溜まってしまったプルトニウム

ウランには大きく分けて2種類あり、現在の原子力発電で使える「燃えるウラン」は全体の0.7%しか存在しません。残りの99.3%は「燃えないウラン」で、現在の原子力発電では燃料として使えません。そのため、原子力に夢を託す人たちは「燃えないウラン」を「燃えるプルトニウム」という物質に変えて利用することを思いつきました。ただし、そのためには高速増殖炉と呼ばれる特殊な原子炉と、プルトニウムを循環させるための「核燃料サイクル」と呼ばれる一連の工程が必要となります。しかし、高速増殖炉は技術的・社会的に困難が多すぎて、世界中どこでも失敗してしまいました。日本でも「もんじゅ」という実験用の原子炉をつくりましたが、試運転開始早々に事故を起こし、14年も止まったままです。ところが日本は、高速増殖炉で燃やすという名目の下、イギリスとフランスに頼んで普通の原子力発電所でできたプルトニウムを分離してもらってきました。その量はすでに45トンに達しています。もともとプルトニウムは長崎原爆の材料となった物質で、日本が手元に持っているプルトニウムで長崎型の原爆を作れば4000発もできてしまいます。

プルサーマルは完成度の低い技術

利用の道のないウランを持っていれば世界から核開発の疑惑を抱かれるため、日本は何が何でも手持ちのプルトニウムを燃やさなければならなくなりました、それが「プルサーマル」と呼ばれるもので、ウランを燃やすために設計された普通の原子炉でプルトニウムを燃やそうとするものです。石油ストーブでガソリンを燃やせば火事になるように、普通の原子炉でプルトニウムを燃やそうとすれば、ただでさえ危険な原子炉がより一層危険なものとなります。誰もそんなことをすすんでやりたいとは思いませんので、世界でのプルサーマルの実績も1%にも満たない程のわずかなものでありません。

人類にとって利点が一つもないプルサーマル

プルサーマルはリサイクルで資源の節約になると原子力推進派は言っていますが、全世界のすべての原子力発電所でプルサーマルを行ったところで、資源は2割増えるだけです。プルトニウムは高速増殖炉で燃やさない限り資源的な意味がなく、プルサーマルはむしろプルトニウムの無駄遣いになります。

プルトニウムは100万分の1gを吸引すると肺がんて死亡する程の猛毒物質です。また、使用済みMOX燃料は処分の仕方が分からず、長期間にわたって原子力発電所の敷地に残す以外ありません。



参加者全員で人文字を完成させた

プルサーマルを許さない

2009年、九州電力玄海原発で日本初のプルサーマル発電が稼動することになっている。グリーンコープ生協さがは多くの市民団体と共にプルサーマル反対に取り組んでいる。4月27日には、小出裕章さん（京都大学原子炉実験所助教）を講師に脱原発学習会を開催。約100人の組合員が参加した。

また、5月10日には佐賀市のどんぐり公園にて「NOープルサーマル佐賀ん会」が呼びかけ「プルサーマルに反対する40万人署名」を成功させるために「5・10さが ストッププルサーマル人文字フェスタ」を開催した。グリーンコープ生協さが市民や他団体と共に参加。約1500人の参加者が「NO MOX」の人文字を作り、プルサーマル中止のアピールをした。

「NO MOX」の人文字に、怒りと願いを込めて

5月10日の「5・10さが ストッププルサーマル人文字フェスタ」では、グリーンコープ生協さがをはじめ、参加したNGOや市民グループが、各ブースで環境問題や省エネ、プルサーマル反対など日頃の活動をアピールしたり、それぞれにワークショップを開いた。また、九州各地で演奏活動しているグループによるライブもあった。

その後、参加した人たちによって、隣接する建物の屋上からの指示に従い、人文字作りが行われた。昼下りの炎天下にもかかわらず、参加者の思いがひとつになって、巨大な人文字が完成した。

しかし、5月23日多くの市民の意志に反し、フランスから日本へ輸送されたMOX燃料が、玄海原発に搬入されてしまった。

今後も、「NO MOX」、プルサーマルの稼動を阻止するための運動を、諦めることなく市民が力をあわせ、いつそう大きく広げなければならない。



巨大人文字を作った後、参加者は佐賀県庁までデモ行進した



グリーンコープ生協さがのブースでは、参加者にそれぞれの思いを布に書き入れてもらい、その布をデモ行進で使った

リレートーク

プルサーマル計画の阻止を

藤田祐幸さん

1960～1970年にかけて、当時の佐藤政権は、プルトニウム生産を国家戦略とした。しかし、その要の「もんじゅ」は事故で頓挫。プルサーマルはあまりにも危険なため、世界各国は撤退している。にもかかわらず、プルサーマル計画を推進しようとする日本は、原子力政策に関しては無政府状態と言える。そして、行き場のないプルトニウムは僻地にある原発へ。それが中央から見た九州の位置なのだ。もともと多くの市民に呼びかけ、この危険極まりない計画を阻止しなければ、子どもたちの未来に大きな禍根を残すことになる。

アイリーン・スミスさん

軽水炉でのMOX燃料使用は未経験。その上、使用済みMOX燃料の最終処分方法も決まっていない。佐賀県民はモルモットとも言える。長崎を破壊した原爆のプルトニウムは8kg、玄海原発に持ち込まれるプルトニウムは670kg、とんでもない量だ。このプルサーマル計画を阻止すれば、日本のエネルギー政策は、もつとよい方向に向かうはずだ。

鎌中ひとみさん

プルサーマル計画に欠かせない六ヶ所再処理工場はトラブル続きで試運転が止まっている。使用済み核燃料のガラス固化の工程に欠陥があり高レベル核廃液は

25mプールいっぱいたまっている。液の1%が漏れれば、日本の半分がチェルノブイリ級の放射能に汚染されると言われている。使用済みウラン燃料すらこの状態なのに、使用済みMOX燃料は、それ以上に危険な物質なのだ。プルサーマル計画は危険な上に膨大な資金が必要のため、アメリカのオバマ政権は撤退を宣言した。原発や電力会社で働く人の中にも原発に反対する人はいる。対立よりも対話する運動をめざしたい。

田中優さん

経済合理性の視点で考えても原発はいらない。電力会社は原発1基建てるのに3千億円と言っているが、1基5千億円の補助金が出されている。税金で賄われる補助金の方が建設費より多いのだ。日本の原子力発電は、1kW5.9円で、他の電力よりコストが安いと電力会社は言っている。しかし、アメリカの風力発電は4円。どちらが得なのか。1年間で最も多く電気が消費されるのは酷暑の日中だ。その時だけ電気料金を上げて消費電力をセーブすれば、現在の発電所を4分の1にすることができ。原発が1基もなくてもよい。企業も電気器具を省エネ製品に切り換えるなど節電がすすむはずだ。家庭でも省エネタイプ電化製品に切り換えれば、昼8畳分の太陽光発電で賄え、電力会社から電気を買う必要もなくなる。地熱発電など自然エネルギーの活用だけで、電力は十分賄える、原子力に頼る必要はない。

グリーンコープのこだわりを魅せられて

～「はなわの食紀行」から見えるグリーンコープ～



プロフィール

佐賀県出身、1976年生まれ、32歳。19歳で上京。お笑い芸人、歌手、ベーシスト、俳優、声優など多彩に活動。アイドルユニットのプロデュースも手がける



※「はなわの食紀行」は岡山、兵庫、大阪では放映されていませんが、同じ内容をグリーンコープのホームページにアップしています。そちらの方をご覧ください。

2008年のグリーンコープ設立20周年記念事業の一つにタレント「はなわ」を起用したグリーンコープ提供のテレビ放映がありました。はなわさんとおして語られるグリーンコープはとても魅力的で、その効果もあり、グリーンコープの仲間は40万人に広がりました。

好評を博したテレビ放映は2009年4月から、「はなわの食紀行」という番組になり、はなわさんがグリーンコープのメーカー・生産者を取材し、こだわりの食材の語り部と登場しています。

6月10日開催された共同体・連合の通常総会会場に、はなわさんがサプライズ登場。グリーンコープの食に対するこだわりへの素直な感動をアピールしました。限られたわずかな時間、会場とステージが一体となって盛り上がりました。サプライズ登場を終えたはなわさんにインタビューをしました。

はなわさんのトレードマークの、その髪型はいつから？

19歳の頃、コマージュのオーディションで、パンクロックのドラマー役に応募しました。その時は、とにかく受かりたかったので目立つスタイル！と思ってこの髪型を考案。意気揚々と会場に入った瞬間に監督に冷たく「帰っていいよ。てっきりだめだと思っていました。翌日電話が入り、



「合格！」。CMは一瞬芸、インパクトのある髪型が買われたようなんです。それ以来、この髪型をとっています。実は、この髪形は僕の出身地佐賀県を代表する農産物の「玉ねぎ」をイメージしたもので、湿度が高かったりすると、ちゃんと立たなくて、難しい。メーカーさんへの取材ではキャップを被らないといけないでしょ。このヘアが崩れないよう特注のキャップを作ってもらっちゃいました。

「はなわの食紀行」では、多くのグリーンコープの生産者・メーカーに直撃取材を試みていますが、生産者・メーカーに出会っての率直な印象は？

最初訪問した宮崎県綾町で食べさせてもらった豚肉のおいしさは忘れられません。キャベツなどの野菜も畑でそのままかじると甘くて、野菜ってこんなにおいしいものかと思つたくらいです。

びん牛乳工場にも行きましたね。こだわりのためにすごい機械を導入し、そのすべてをボタン一つでコントロールしている、驚きましたよ。飲ませてもらった牛乳も半端じゃなくおいしかったです。訪問した生産者・メーカーのみなさんすべてがこだわりの持ち主で、それがヒシヒシと伝わってくるんです。それはグリーンコープのみなさんのこだわりでもあるんですね。僕にも子ども（8歳、5歳

「利き米」では優れた才能を発揮していますが、それはいつから、どういうことがきっかけ？

僕が幼稚園くらいの頃、おばあちゃんがたまに家に来てお弁当を作ってくれたんです。でも、大好きなお飯が作ってくれたら、おばあちゃんに申し訳ないんですが、コソッと藪に捨てたりしました。まずいおにぎりの味がトラウマになって、それが米に対する尋常ではないこだわりになったんです。やたら昔から、炊き立てのご飯の匂いがたまらなく好きなんです。ご飯、大好物ですが、利き米って



よ。何故かという、炊いてから2〜3日保温しているご飯でデカおにぎりを作ってくれます。それが食べられなくて。おばあちゃんには申し訳ないんですが、コソッと藪に捨てたりしました。まずいおにぎりの味がトラウマになって、それが米に対する尋常ではないこだわりになったんです。やたら昔から、炊き立てのご飯の匂いがたまらなく好きなんです。ご飯、大好物ですが、利き米って

日本の食料自給率40%という状況と日本の農業の衰退が問題になっていますが、それについてどう思いますか？

グリーンコープの仕事をしながら、自給率の問題などを知りました。本間に危機的な状況なんですね。外国からの輸入が途切れたら日本には食べるものがなくなってしまうかもしれない。改めて考えさせられました。だからと言って、今すぐ農業をして自給自足できるわけではない

率直にグリーンコープについて、どう思いますか？

佐賀に住んでいましたから、グリーンコープの名前は知っていました。今回仕事をさせてもらって、食材



へのこだわりだけではなく、福祉や子どもたちの生活にかかわることなど広範囲に取り組んでいることを知りました。すごいなあ。僕も家族のことを考えると、改めて大事なことだと思いました。おいしいもの、安心・安全なものを食べたい、安心して暮らしたいという、みなさんのエネルギーが素晴らしい！今日の総会での盛りあがりには、はつきり言ってます。驚きました

よ。400人もの前でちょっと怖気づいていました。僕は今、グリーンコープの語り部ですからねえ。いろいろなアイデアが浮かんで消えているんです。例えば、「グリーンコープの歌」なんか作ってみなさんと一緒に歌えると楽しいだろうなあ。それに、僕はいろんなことを考えて挑戦するの好きですから、機会があれば何かコラボしたいです。

「連帯」の力で乗り越え 「グリーンコープ」をめざします

2009年6月10日、グリーンコープ共同体第三期通常総会とグリーンコープ連合第十七期通常総会が福岡市で開催され、約400人の組合員、職員が参加しました。2008年度総括と2009年度方針が提案され、真摯な検討の結果、すべての議案が満場一致で採択されました。

グリーンコープはこの間、「共同体」という新しい連帯のカタチを、自分たちで一つずついてねいに創り出していくことを確認しあってきました。そして、今総会、グリーンコープは現在の経済不況を世界恐慌と受け止め、組合員の生活と生命を守るための一歩を大きく踏み出しました。

グリーンコープ共同体は、 未曾有の社会経済情勢に対応できる内実形成を 間にあわせることができました



第一号議案を提案する
グリーンコープ共同体
専務理事 東原 晃一郎さん

「10年先、20年先にも、グリーンコープがグリーンコープのままでありつづけるために」、グリーンコープ40万人の組合員の規模になりました。前年比106%という、グリーンコープは

「10年先、20年先にも、グリーンコープがグリーンコープのままでありつづけるために」、グリーンコープ40万人の組合員の規模になりました。前年比106%という、グリーンコープは

世界経済は、世界大恐慌の玄関口に入つたと考えられます

2008年9月、アメリカのサブプライム・ローン問題に端を発した金融危機が世界を襲いました。信用の収縮、失業率の急上昇が世界中に広がっていきまし

グリーンコープに関わるすべての人が グリーンコープを所有するために 地域組合員総会と職場の強化に取り組んできました

組合員一人ひとりがグリーンコープの一員であることを実感し、その権利を行使するという生活協同組合の原点に立ち返って、各単協で地域組合員総会を精力的に行っています。組合員が総代を選び、総代が理事を選んで、理事が生協を運営していく、地域組合員の

じまって以来最大の仲間づくりでした。活動する組合員、ワーカーズ、職員が、伴走する生産者やメーカーなど多くの人々の気持ちと力を合わせて頑張ってきたからこそ実現できたと言えます。足取りとしては、「互恵のためのアジア民衆基金」の設立準備会や、ふくおかが受け入れ団体となった「シヤボン玉フォーラムinふくおか」、みやぎ、かごしまが受け入れ団体となった「GMOフリーゾーン全国交流集会in綾町」などを開催しました。

食べものについて

組合員とコミュニケーションするために 40万人組合員アンケートに取り組みました

全組合員を対象に行ったアンケートの回収率は83.1%。組合員の食に対する考え方や食生活のようすなど、多くの組合員の声を集めることができました。国産原料、遺伝子組み換え原料不使用へのこだわり、不必要な添加物の排除への組合員の支持は高く、地産地消、さらなる安全性への期待がうかがえる結果でした。食べもの運動を展開していくにあたって40万人の合意を得ることができたと言えます。

「助けあう・支えあう」ことが、かけがえのない生命線の言葉となり身体となります。できることから一つずつ深めていきましょう。確実に進行する日本の人口減少、少子高齢化に加えて、世界恐慌が急激に日本経済を襲っています。現在、生活保護世帯が過去最高に増加雇用崩壊も進行し、ホームレス者も急増している厳しい社会状況です。

食べものと環境を育み、より本格的・本質的に「助けあい、支えあう」生活協同組合として、地域の中で組合員や市民が信頼を託しあえるグリーンコープへと向かっていきましょう。

グリーンコープの食べもの運動として、さらに良い食べものの在り方をめざして、「安心」「安全」、そして、「安定」の確立へ、できることを一つひとつ取り組んでいきましょう。

仲間づくりの輪を全力で広げ、組合員同士のコミュニケーションを創り出し、「いのち・自然・くらし」を守るグリーンコープ運動と事業をさらに推進させましょう。

協同していく地域と社会づくりに向けて、生活再生事業や家計とくらしの応援活動、子育て応援など、助けあいの運動と事業を社会福祉法人グリーンコープそしてワーカーズと共にすすめていきましょう。

全国のネットワークに連帯し、遺伝子組み換えや原発、地球温暖化などの社会的な問題に、生命を根幹にすえて取り組み、グリーンコープのできるところから解決していきましょう。

民衆交易やその他の取り組みを通して連帯・交流すること、で、「南と北」「北と北」の共生・連帯をさらにすすめていきましょう。

グリーンコープ共同体設立の願いを実現していくために、グリーンコープ運動をすすめる組合員組織と組合員事務局、職員事務局そしてワーカーズ、それぞれの主体の強化をすすめていきましょう。

第三期通常総会で選任された役員

武岡 理恵	グリーンコープ生協ふくおか	大橋 年徳	グリーンコープ生協みやざき	堀井 信介	グリーンコープ生協ひろしま
井上 潔子	グリーンコープ生協ふくおか	川原ひろみ	グリーンコープかごしま生協	岡田 範子	グリーンコープやまぐち生協
東原晃一郎	グリーンコープ生協ふくおか	本田 慎一	グリーンコープかごしま生協	長田 計司	グリーンコープ生協（長崎）
宮崎 正義	グリーンコープ生協ふくおか	榎 慶子	グリーンコープ生協さが	西川 文恵	グリーンコープ生協おおい
石打 壽	グリーンコープ生協ふくおか	恵藤みさき	グリーンコープ生協ふくおか		
加島 佳浩	グリーンコープ生協ふくおか	大橋由美子	グリーンコープ生協ふくおか		
行岡みち子	グリーンコープ生協ふくおか	西本 幸子	グリーンコープ生協ふくおか		
田中 裕子	グリーンコープ生協さが	片岡 宏明	グリーンコープ連合		
伊藤 正樹	グリーンコープ生協さが	村上 省三	グリーンコープ連合		
高橋 純子	グリーンコープ生協（長崎）	小笠原尚隆	グリーンコープ連合		
松本 弘信	グリーンコープ生協（長崎）	白木 豊彦	グリーンコープ連合		
奥田富美子	グリーンコープ生協おおい	草場 広宣	グリーンコープ連合		
松本 豊	グリーンコープ生協おおい	鹿毛 優子	グリーンコープ連合		
久米田 薫	グリーンコープ生協くまもと				
佐枝 尚美	グリーンコープ生協くまもと				
河添 文彦	グリーンコープ生協くまもと				
園山 寛	グリーンコープ生協くまもと				
杉尾紀美子	グリーンコープ生協みやざき				

2009年6月10日 グリーンコープ共同体第三期通常総会 グリーンコープ連合第十七期通常総会

世界恐慌という荒波を「協同」と「連帯」で乗り越え、未来に生きる“グリーンコープ”



商品おすすめ委員長
恵藤 みさきさん

産地の視察交流以外にも、びん牛乳リ
ーフレットの作製、単協からの提案で初
めてメーカー視察を行うなど、単協での
取り組みを支える委員会としての実態を
築きつつあります。2009年度、「産
直・交流委員会」から「商品おすすめ委
員会」に名称変更し、さらにグリーンコ
ープ商品の利
用普及をすす
めていきたい
と思います。



商品検討委員長
横 慶子さん

おおさか・ひょうごが取り組んだ開発
商品が初めて登場するなど、各単協の商
品開発が充実しました。基幹商品の食バ
ンリニューアルやバターブレンドマーガ
リンの開発もすすみました。再編して3
年目、グリーンコープ共同体の委員会と
して、単協の商品開発を共有化し、相談
協議する場と
して単協を支
えていきます。

グリーンコープ共同体 委員会報告



福祉委員長
西本 幸子さん

委員会再編によりグリーンコープの
福祉をオールグリーンコープで学ぶ場
となり、さまざまな学習会を開催しま
した。また、各単協の福祉の取り組み
や年間のテーマであった「福祉活動組
合員基金」について共有化し、お互い
を知ることができました。2009年
度もグリーン
コープの地域
福祉をすすめ
ていけるよう
委員会活動を
行っています。



組織委員長
大橋 由美子さん

2008年度は、各単協の相談・協
議の場として、「せっけん」「環境」「平
和」「アジアとの連帯」の取り組みを共
有化し、活動に生かすことができました。
特に「アジアとの連帯」については、「from
ネグロス」として取り組みを広げた節
目の一年になりました。今後さらに
南と北の共生
への理解を深
める活動を続
けていきます。



グリーンコープは人と人が助けあい、 支えあっている、真の生活協同組合への 歩みが続けていきます

私たちはこれまで、福祉
活動組合員基金や子育て応援
生活再生事業など地域社会
を形成する取り組みをすす
めてきました。これから路
私たちはこれまで、福祉
活動組合員基金や子育て応援
生活再生事業など地域社会
を形成する取り組みをすす
めてきました。これから路
私たちはこれまで、福祉
活動組合員基金や子育て応援
生活再生事業など地域社会
を形成する取り組みをすす
めてきました。これから路

国産へのこだわりをいっそうすすめます

グリーンコープはこれまで
ずっと、国産にこだわってき
ました。2007年の中国産
食品偽装事件をきっかけに、
グリーンコープの食品の原材
料（1次原料から3次原料）
全てを見直しをしました。その
結果、国産へのこだわりや産
直をすすめてきたことが、間
違いなかったと確信しました。
今後も国産にできるものは、
国産原料にしていきます。
その一つとして、これまで
できなかったグリーンコープ
の醤油の原料大豆を、すべて
国産の丸大豆に切り替えます。
その量は国産大豆160t。
耕作面積で言うと64haが大
豆畑として活用されます。ま
た、昨年、いろいろな人の協
力を得て、92・2haの休耕田
に菜種を植えており、それを
原料にしたなたね油が商品化
できる見通しです。こうした
ことは、日本の農業を守ると
いう視点でも、耕作地や農業
収入を生み出し、フードマイ
レージの考え方からも理に
なっています。商品の数量と
しては限られますが、国産の
ものを求めている組合員は利
用することができます。この
他、外国産のものに頼ってい
る落花生やゴマ、タケノコな
ど国産化できるように生産者
の協力を得て、取り扱いを広
げていきます。
グリーンコープでは、組合
員を増やし、利用を
広げることが、日本
の農業を守り、食の
安全と安心を強固に
していくことになる
と考えます。

連合総会議案採決の結果

代議員 194人	賛成	反対	保留	代議員 194人	賛成	反対	保留
第一号議案 2008年度活動報告承認の件	194	0	0	第五号議案 定款変更、 諸規約・規則変更及び制定の件	194	0	0
第二号議案 2008年度決算報告承認の件 (監査報告を含む)	194	0	0	第六号議案 他団体への出資増額の件	194	0	0
第三号議案 2009年度事業計画・予算決定の件	194	0	0	第七号議案 役員選出の件	194	0	0
第四号議案 借入金最高限度額決定の件	194	0	0				

共同体総会議案採決の結果

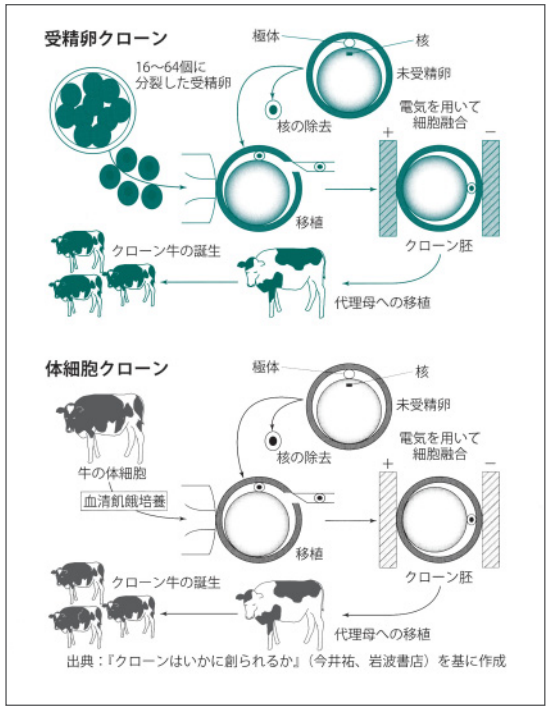
代議員 194人	賛成	反対	保留
第一号議案 2008年度活動報告承認の件	194	0	0
第二号議案 2008年度決算報告承認の件 (監査報告を含む)	194	0	0
第三号議案 2009年度活動方針決定の件	194	0	0
第四号議案 2009年度事業計画・予算決定の件	194	0	0
第五号議案 定款変更、 諸規約・規則変更及び制定の件	194	0	0
第六号議案 借入金最高限度額決定の件	194	0	0
第七号議案 役員選出の件	194	0	0

中村 富美子
江里 俊之
長沼 浩美
佐渡 公成
坂口 陽子
水嶋 康彦
相野 香
新田 ひとみ
角 幸恵
寺本 敏徳
林 和子
谷川 大輔
松村 理津子
工藤 正直
田原 幸子
小川 ちはる
園田 由紀子
小松 実加

グリーンコープ生協おおさか
グリーンコープ生協ひょうご
グリーンコープ生協ひょうご
グリーンコープ生協おかやま
グリーンコープ生協おかやま
グリーンコープ生協とっとり
グリーンコープ生協とっとり
グリーンコープ生協（島根）
グリーンコープ生協（島根）
グリーンコープ生協ひろしま
グリーンコープ生協ひろしま
グリーンコープやまぐち生協
グリーンコープやまぐち生協
グリーンコープ生協ふくおか
グリーンコープ生協ふくおか
グリーンコープ生協ふくおか
グリーンコープ生協ふくおか

「今」を探る

の確保に向けて…新たな問題への挑戦



GM動物・体細胞クローン家畜に関する学習会

「体細胞クローン家畜やGM動物食品」は食べたくありません

講師 天笠 啓祐（遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン代表）

クローン技術とは

1998年、日本に初めて遺伝子組み換え（GM）作物が輸入されて以来、私たちの「ストップ！GMO」運動は留まることはありません。現在商品化されているGM作物は、主に除草剤耐性（大豆やナタネなど）と害虫抵抗性（トウモロコシや綿花など）の植物だけです。にもかかわらず、莫大な費用を投下してさまざまな研究・開発は続けられ、今やその対象は動物にまで及んでいます。しかもGM動物を量産するため、体細胞クローン家畜の商品までもが商品化されようとしています。また、GM生物は地球環境と自然の生態系の保護を阻む最大の要因でもあります。

グリーンコープは、「GM問題の今」をきちんと知り考えていくための学習会を5月25日に開催しました。参加した約200人の組合員は、次から次に表出するGM問題に真剣に取り組んでいくことを共有しました。

クローン動物をつくる技術は、二つに大別されます。一つは体外受精した受精卵を使う受精卵クローン、もう一つは体細胞から遺伝子情報の入った核を取り出して行う体細胞クローンです。

受精卵は分裂を繰り返して、さまざまな臓器や組織に分化します。その分化前の受精卵をバラバラにして誕生させるのが受精卵クローンで、最大一卵性64児誕生させることができます。

一方、体細胞クローンは一つの体細胞の核にある遺伝子情報で1頭の牛をつくってしまう技術です。日本では、耳や牛乳の細胞を使って実際にクローン牛が誕生しています。受精卵の遺伝子は将来どんな細胞にもなれる全能性を持っていますが、耳の細胞は耳と

いう機能を果たすように働きの制御されています。耳の細胞の遺伝子を受精卵の段階に戻すこと（初期化）ができなければ、実際の牛を誕生させることはできません。その初期化技術が登場して、体細胞クローン動物づくりがはじまりました。

1996年体細胞クローン羊ドリーが誕生、2年後には日本で体細胞クローン牛が誕生しました。体細胞クローン技術は、例えば乳量が多く肉質がよい牛がいれば、それと同じ牛を大量生産できる夢のような技術とされていました。実際には出産までこぎつけるのはごくわずかなのです。やっとなんかでも、死産、出産直後の死亡、そして幼くして病気で死んでしまうケースが多く、過大子で生ま

体細胞クローンの問題点

GM問題はこの技術が動物にまで及んできたことでさらに大きな問題となっています。アメリカでは三倍の速さで成長する巨大鮭が商品化間近です。日本ではヘルシーな豚肉を供給する目的でホウレンソウの遺伝子を導入した豚などが開発されました。人間の都合のいいように遺伝子を組み換えられた動物が次々に誕生しようとしています。

GM動物とは

利用化されると海の大きな生簀で飼育されます。生簀から逃げた場合、GM鮭がふつうの鮭と生存競争することになります。生殖能力が衰えているGM鮭が他のオスを押しつけてしまい、結果的に次世代を減らしてしまうなど生態系に異変が生じる可能性があります。一旦自然界に放たれると環境への影響は計り知れません。

分かりやすい表示をして消費者が選択できるように

いずれのGM技術・クローン技術も、生態系を守る意味でも、安全性の面でも、生命倫理の観点でも、容認できるものではありません。誰もがそんな食品を食べたくはないはずです。

アメリカでは安全だとしてGM表示をする動きもありますが、何の表示もないまま流通している可能性も否定できません。この流れでは、体細胞クローンやGM動物も任意表示の可能性があります。

アメリカから巨大鮭やクローン牛がそのまま食品として、もしくは加工品や缶詰として輸入される前に、きちんとした表示を求めていることが必要です。表示された上で「食べたくない」という消費者が選択できるようにしていかねばなりません。

GM動物食品の問題点

GM動物は、自らの意思で移動できるゆえの影響の大きさが問題です。例えば、研究用の水槽の中で開発されているGM巨大鮭は、実

国境を越えた遺伝子汚染の歯止めや責任追及はできるのか

～生物多様性条約カルタヘナ議定書27条「責任と修復」条項の成文化に向けて～

地

球環境の悪化が叫ばれはじめた1992年、地球環境サミットがブラジルで開催され、国際的な取り決めとして「持続的発展のための地球行動計画（アジェンダ21）」が採択され、同時に、自然の生態系の保護を目的にした「生物多様性条約」が成立しました。その条約に基づき、バイオテクノロジーによって操作された生物（LMO＝GMOより広い範囲）が環境に悪影響を及ぼさないよう管理するための措置を講じた国際間の取り決めである「カルタヘナ議定書」がつくられました。2000年のモンテリオール国際会議で採択され、締約国数が50カ国になった2003年9月に発効、日本はその年の11月に調印しました。さらにカルタヘナ議定書では批准した国ごとに、詳細に規制するための国内法（カルタヘナ国内法）の制定が求められています。

カルタヘナ議定書成立において最大の懸案であったと言われているのが第27条「責任と修復」条項。制定時には内容が成文化されず、条文に「改変された生物の国境を越える移動から生ずる損害についての責任及び救済の分野における国際的な規制及び手続きの方法を発効から4年以内に制定する」ことが記載されています。LMOが国境を越えて遺伝子汚染を引き起こしたり生物多様性を犯す場合、その責任（賠償や損害修復）をどう取り決めるのか、法的能力を持たせるのか、未加盟国の責任をどう追及するのか、などが焦眉の課題となっています。

27条を生きた内容にするために、2005年から2008年、締約国作業グループで会合が持たれ、検討されてきました。その最終報告が昨年のドイツ・ボンでのCOP9/MOP4で提案され、締約国間で交渉・成立するはずでした。しかし、GM作物が環境へ及ぼす影響や経済的な損失に対し、バイオテク企業やGM作物の輸出国が抵抗し、その意向を受けた日本政府が反対し合意に至りませんでした。それを受けて、2009年1月メキシコで作業部会が開催されましたが、そこでもまとまることはなく、現在2010年1月マレーシアでの作業部会に持ち越されています。

最終2010年に名古屋での国際会議で成文化されることになっています。それまでの間、日本政府に対し、市民レベルでの提言を準備していく必要があります。

国や一般の資料では、27条は「責任と救済」と訳されています。しかし、「救済」という言葉は、あたかも上から下に向けて施しに受け止められます。「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」では「自然」と対峙する私たちの意志と主体性を表現するため、あえて「修復」という言葉を使っています。

遺伝子組み換え問

GM動物、体細胞クローン家畜、生物多様性



上がGM鮭

GMOフリーゾーン欧州会議



GMOフリーゾーン世界をめざして頑張ろう!!

食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク設立総会

市民の手で守ろう！

地球の生物多様性

2009年5月23日、名古屋市中区役所ホールで「食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク」(以下MOP5市民ネット)設立総会と学習会が開催され、共に運動を担う全国の仲間ら約200人(グリーンコープからは組合員・事務局14人)が参加しました。

午前はMOP5市民ネット立ち上げ集会。2010年名古屋で開催される国際会議「COP10/MOP5」に照準を合わせ、世界の消費者・農家と共に食と農を自分たちの手に取り戻し、生物多様性を守ることを目的に設立されました。

今後、「GM生物が人の健康・農業・環境に及ぼす影響を明らかにして広く知らせていく」「COP10/MOP5に向け市民レベルの政策提言を行う」「規制の役割をしない」「カルタヘナ国内法の改正を求める」「COP10の争点の『ABS(遺伝資源へのアクセスと利益配分)』とMOP5の争点の『責任と修復』を有効なものにするよう働きかける」「国内外の団体や人々と共同でイベント・集会を開催する」ことなどを柱に同じ目的を持った団体と共に運動をすすめていきます。とりわけ「生物多様性条約市民ネット」



MOP5市民ネット立ち上げ集会の参加団体リレートークでグリーンコープのストップGMの取り組み姿勢をアピールする田中共同体代表理事

ーク」と連携・協力していくことになりました。

午後からは、生物多様性と遺伝子組み換えについて、基礎から学びました。講師の一人・道家哲平さん(財団法人日本自然保護協会)は、「地球上の生命を守る

『生物多様性条約』とは」と題した講演の中で、「生物多様性とはすべての生命の多様さとそれらがつながりを持つていることを言う。私たちの暮らしはそんな生物多様性の恵みを利用することで成り立っている。それを守ることが、私たちの暮らしを守ることである。生物多様性条約は世界的に最も開かれた条約と言われている。私たち市民の生き方の問題と結びついている」と話しました。

天笠啓祐さんからは「食と農の安全を守る『カルタヘナ議定書』とは」と題し、「GM作物による生態系・生物多様性への影響として、殺虫性作物・耐性害虫の拡大、除草剤耐性作物・耐性雑草の拡大、野生植物・原生種汚染、昆虫の寿命等への影響、家畜への影響、未承認作物の交雑・混入、GM動物の影響など遺伝子組み換えと生物多様性との関係について話がありました。

河田昌東さん(遺伝子組み換え食品を考える中部の会)からは、「くらしにしのびよる遺伝子組み換え生物」と題した講演がありました。河田さんは「GM作物で野生種の近くにGM西洋ナタネの自生とその汚染が拡大している」「花粉による野生種や栽培作物へのGM遺伝子の侵入は、自然界に存在する

種の壁を壊すことにつながる」「GM動物が自然界に逃げ出せば、植物とは比較にならない速さでGM遺伝子が拡散し、天然種への影響は計り知れない」など、活動から見えてくる問題点についての指摘がありました。

今後MOP5市民ネットは、生物多様性を大きく「生態系」「種」「遺伝子」という視点から捉え、取り組みを展開していくこととなります。なお、今年10月にドイツの環境保護活動家クリスティーン・フォン・ヴァイツェッカーさんを迎える集会、2010年5月には「生物多様性の日集会」が予定されています。

※1 生物多様性条約第10回締約国会議
※2 カルタヘナ議定書第5回締約国会議

グリーンコープがこしま生協理事長 川原 ひろみ

2009年4月24・25日、スイスの古都ルツェルンで開催されたGMOフリーゾーン欧州会議に参加しました。

この会議は、各国でGMOフリーゾーンに取り組み人たちが集まり、その取り組みのようすを報告し、それぞれの運動を世界中の人たちに伝え連帯を深めることを目的としています。私は、ストップ! GMO連絡協議会を構成する生協のメンバーとして、日本での自生GMナタネの状況報告から見える汚染の実態と、3月14日宮崎県綾町で行われた「GMOフリーゾーン全

国交流集会」のようすを報告しました。

今回の欧州会議は、EUに加盟せずGMOフリーゾーン欧州会議に参加した。国民投票で決めた民主主義の極致とでもいうような素晴らしい国スイスで「食と民主主義」をテーマに開催。世界中から集まった約300人がセッションに参加しました。

スイスでは「GMOフリーゾーン運動」が積極的にすすめられており、4つのカントン(日本の都道府県にあたる)でGM作物の商業栽培が禁止され、輸入される食品や作物は99%が、市場は100%がGMOフリーです。さらに、有機農家の比率が世界で最も高く、消費者の有機農業への強い支持がGMOフリー国家をもたらしっていると聞かれました。

近隣のチェコは、国としては遺伝子組み換えを推奨していますが、国の方針とは別に地方自治体に決定権があることから現実にはほとんどの自治体が反対しているのだそうです。他のヨーロッパメンバーは「遺伝子組み換えは飼料であつても表示すべきである」、スイスの科学者は「植物にも魂があるので人間の勝手で作作するのはいけない」など、それぞれに訴えました。

その他にも、農民同盟代表、大豆取引コンサルタント、運動をすすめる市民団体などから報告がありました。セッションの合間にある

グリーンコープ商品の裏面表示(義務表示) 例

品名	しそ昆布
【名称】	つくだ煮
【原材料名】	しょうゆ(本醸造)、砂糖(粗製糖)、水飴、昆布、みりん、昆布エキス、かつお節エキス、白ごま、梅ペースト、しそオイル、寒天 (原材料の一部に小麦、大豆含む)
内容量	90g
賞味期限	09.9.5
保存方法	10℃以下で保存。
【販売者】	生活協同組合連合会 グリーンコープ連合
【製造者】	福岡市博多区博多駅前中央街8番36号 宝山食品工業株式会社 広島県廿日市市宮内工業団地2番2
開封後は、できるだけ早めにお召し上がりください。●商品についてお気づきの点がございましたら、所属の生協にご連絡ください。	

グリーンコープの表示では義務表示以外にも必要とする情報はできるだけ表示することとし、欄外にメーカー名を記載するなどしている

市販品の裏面表示(義務表示) 例

品名	風味調味料(かつお)
原材料名	調味料(アミノ酸等)・食塩・風味原料(かつおぶし粉末・かつおエキス)・乳糖・砂糖・酵母エキス
内容量	120g(60g袋×2袋)
賞味期限	欄外下に記載
保存方法	直射日光を避け、常温で保存してください。
使用方法	みそ汁4人分(600ml)に小さじ山盛り1杯約4gが目安です。

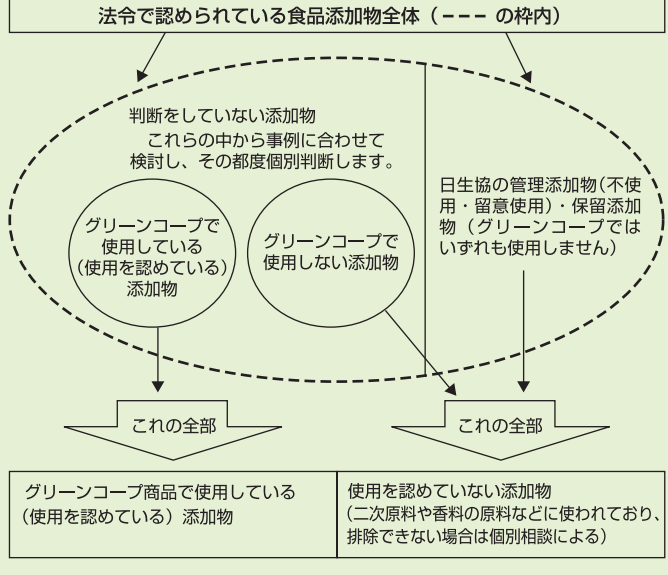
「調味料(アミノ酸等)」という一括名表示がされ、一部の成分名しか記載されていない

乳化剤	調整剤	PH	調味料	発色料	酸化防止剤	安定剤	増粘剤	保存料	甘味料	着色料	種類	主な食品添加物の種類や用途
水と油を均一に混ぜる	PHを調整し品質をよくする	PHを調整し品質をよくする	食品にうま味などを与え味を調える	色調を改善し、見栄えをよくする	油脂などの酸化を防ぎ保存性をよくする	食品の安定性を向上させる	食品に粘り気やとろみをつける	カビや細菌などを抑制し、品質の劣化を防ぐ	甘みを与える	着色したり、色調を整える	目的と効果	

法令で認められている食品添加物の数 2008年1月現在

食品添加物	指定添加物(376品目) 厚生労働大臣が指定した添加物 (香料用途の添加物も含み、天然添加物も含む)	既存添加物(418品目)	天然香料(612品目)	一般飲食物添加物

グリーンコープ商品の食品添加物使用基準



さまざまな食品の産地や品質の偽装事件が後を絶たない中、食の安全性や国産への期待は高まるばかりです。グリーンコープは設立以来、「いのちを育む食べものを守る運動」を掲げ、食品の安心・安全を追求してきました。その中の一つとして必要な食品添加物は使用しない方針を貫いてきました。食品添加物に対するグリーンコープの姿勢を探ります。



グリーンコープは食品添加物をできるだけ使わない

1

960年代以降、経済の高度成長に伴って、大量生産、大量消費の時代が到来、食料市場は大きく変化してきました。

食品を長距離輸送するために保存性を高めたり、見かけをよくすることなどを目的に食品にさまざまな添加物が使用されるようになりました。これらのほとんどは経済性を追求するためのものです。今や日本人は年間1kg、1人1日32gの食品添加物を摂取していると言われていいます。

食品添加物の使用に関して、日本と海外の基準が統一していないことから、輸入食品から認可されていない食品添加物がみつかることがあります。また、輸出国からの圧力で認可された

ものもあります。食品添加物について規制している法律は食品衛生法です。1995年に改正され、使用が認められる添加物の幅が広がりました。しかし、その中には安全性について確認されていないものも多く含まれています。また、使用が認められている添加物であっても、問題が発生した場合は使用禁止となることもあります。ハム・ソーセージに使われていた「アカネ色素」に発がん性が見つかり、使用が禁止された例があります。

消費者は食品の安全性の不確かさに危機感を持ち、食への関心はますます高まっています。商品を購入する時に裏面表示(義務表示)を確認する人も増えており、市販の加工調理品でも「無添加」や「天然」という表示が見られるようになりました。しかし、「無添加」とは一般的に食品添加物が使用される商品に対し、使用しない場合のみ「〇〇無添加」と表示できるように

なっており、それ以外は優良誤認とみなされます。「天然」の表示も添加物に天然と合成の区別がなくなつたため、認められていません。また、同じ用途の成分を2つ以上使っている場合、例えば「乳化剤」や「調味料」などのように「一括名表示」としてまとめて表示するようになってい

ます。消費者には分りにくい表示になっています。グリーンコープの基準で多様な商品開発を

グリーンコープは、かつての地域生協の頃から、「食べもの」を「生命を育むもの」と位置付け、取り扱ってきました。しかし、社会状況の変化に伴って、市民の生活も多様化し、調理食品や加工食品のニーズが高まってきました。それに伴い、組合員からはグリーンコープの安心・安全な原材料を使った簡単でおいしい半調理品などを求める声も多くなってきました。そこで、添加物をできるだけ使用しないことを前提に商品の多様化をすすめてきました。見かけのために色

や香りを過度に追求したり、必要以上の保存性を求めることなく、より手作りに近い、グリーンコープらしい商品作りをめざしました。グリーンコープでは食品添加物に独自の基準を設けています。それは、グリーンコープが商品開発の経過の中で検討し使用を認めると判断してきたものです。その中には使用を認めないとグリーンコープが判断したもの、日本生活協同組合連合会の管理・保留添加物として安全性判断ができ



商品開発検討の場

ていないものがあります。そうしたものは基本的に使用しません。グリーンコープでは素材を生かすことを大切に、添加物を使用しないですむときは使用しないことを基本としています。現在でこそ、法的に天然添加物と合成添加物を区別していませんが、グリーンコープでは従来より天然添加物についても点検の対象としてきました。また、サッカリンナトリウムなど自然物にはないもので、化学的に作り出した添加物は使用しない、急性毒性や遺伝子に異常を及ぼす変異毒性が疑われるものは使用しないとしています。ただし、2次原料・3次原料の段階で使用されている食品添加物の中には、排除できないものもあります。そのような場合は、その都度検討することになっています。併せて、安全性の問題がないと評価が定まるまで原則的に使用しません。

このようにグリーンコープの厳しい基準のもとに開発された商品については、グリーンコープ商品仕様書でそれぞれの商品設計を詳細に知ることができると共に、商品の2次原料や3次原料として使われている食品添加物を遡って知ることができます。また、グリーンコープ商品生産・製造認証システムによって正しく執行されているのが確認できます。

グリーンコープはこれからも使用する食品添加物についてきちんと把握し、使わなくてよいものは使わないという方向性を追求しながら、安心・安全な商品を組合員に届けていきます。



生産奨励金は生産者の支え

2009年5月13日、2008年度第4回の酪農生産者交流会が熊本県菊池市のJA菊池農業総合情報センター「パシオン」で開催されました。グリーンコープの9単協、事務局など23人、生産者16人、JA菊池2人、熊本県酪連1人が参加しました。

酪農生産者交流会



2008年度4回目の生産奨励金(21,510,000円)の目録をnon-GMO牛乳生産者会委員長に贈呈するグリーンコープ生協さかの黒瀬幸子さん

グリーンコープを代表して、グリーンコープやまぐち生協理事長の松村理津子さんが「世界的な経済危機に加えて、飼料価格が高騰し、牛乳の消費も低迷しています。このような中で生産者のみなさんががんばって、安心・安全なおいしいびん牛乳の生産を続けていただいていることにとても感謝しています」と挨拶しました。続いて、non-GMO

生産奨励金贈呈セレモニー

牛乳生産者会委員長の矢野桂吾さんが「グリーンコープより生産奨励金をいただきのは経営の安定という意味でも意義のあるものです。酪農の厳しい状況下で生産者の経営の支えになっていて、本当にありがたいと思っています」と生産者を代表して挨拶をしました。グリーンコープから生産奨励金と「生産者へのお手紙」を贈呈後、グリーンコープ連合畜産部から「びん牛乳を飲み続けていくためには、生産者が酪農を続けていくことが前提になります。酪農を続けていくためには、消費が安定することが大切です。牛は生きもので、毎日一定量の牛乳を生産します。その牛乳を安定して利用するために、びん牛乳は『年間、毎週何本飲みます』という定期予約を基本にしているのです。もっと利用普及に力を入れていく必要があります」との報告がありました。

昼食交流会

次に、参加した単協からびん牛乳利用普及の取り組みや組合員のびん牛乳へのそれぞれの思いが語られました。グリーンコープ生協のおさかからは「おさかのびん牛乳の利用は組合員の半数に上っています。価格に厳しい組合員もいますが、おいしいと納得すれば利用は増えていくと思います。牛乳のサンプルを配ったり、牛乳を使っている商品提案したりしてびん牛乳の利用をすすめていきたいと思っています。産地を訪ねるのは初めてです。見学して見聞きしたことを持ち帰って仲間伝えていきたいと張り切っています」との報告がありました。

酪農交流見学

午後は、5班に分かれて酪農交流見学が行われました。実際に牛舎を訪れるのは初めての組合員も多く、「エサはどんなものを食べているの?」「搾乳は何時頃、一日に何回するの?」「牛の健康管理のどんなところに気を使っているの?」など、たくさん質問が出されました。生産者からは、搾乳牛や育成牛、子牛を見ながら一つひとついい説明がありました。

言いたい

投稿欄

私の好きなグリーンコープ商品

グリーンコープの魚たち、わが家の舌を唸らせる

わが家の主人は、普段食事についてあまりとやかく言いません。かといって、侮ることなかれ、舌が鋭く、素材の違いが分かる人なんです。スーパーで安くぶりを購入し、照り焼きにして食卓に出せば、ボソッと「これ養殖だね」。そんな主人が、グリーンコープの「あうす塩味さば」を初めて食べた夕食のことです。「これはいつものさばと違うね。脂がのっておいしい」と。2歳になる娘もどうやら同じ感想のようで、さばをあっという間に平らげてしまいました。以降も、グリーンコープの魚料理を出せば、うれしくらいあつという間に食べ尽くされ、主人は「これグリーンコープの?」と尋ねるようになりました。当初、グリーンコープ商品の利用は、お試しで2ヵ月利用してから、継続するか考えるつもりでしたが、これでは止められません。そういう訳で、主人と娘の舌を唸らせるためには、グリーンコープの商品は、わが家の食卓になくてはならない存在となりました。グリーンコープ生協おかも

稲田 綾

投稿募集中

私の好きなグリーンコープ商品

- 400字程度 ●毎月月末
- 住所・氏名・年齢・TEL・所属生協名を明記して郵送またはFAX、Eメールでお送りください。掲載分には図書カード(500円分)進呈。
- 住所・氏名などの組合員の個人情報、本紙に掲載の場合のみ使用します。

〒812-8561
福岡市博多区博多駅中央街8-36 博多ビル7F
グリーンコープコミュニケーション
ワーカーズ連(REN)
「共生の時代」編集部 宛
FAX 092-481-7876
Eメールアドレス
rikoho@greencoop.or.jp



No.12

「いのち・自然・暮らし」を守るために、脱原発社会をめざそう

グリーンコープでは、設立当初から原子力発電について『いのち・自然・暮らし』を脅かし、未来の子どもたちに大きなつけを負わせるものであり、共存できるものではない』という考えを貫いています。1995年「グリーンコープ脱原発政策」を策定し、「脱原発社会」の構築に向けて取り組んできました。現在、日本には原発が53基もあります。それは、アメリカ、フランスについて世界第3位の保有数です。そして、その原発の多くが、活断層の真上や近くに建っていて危険性が指摘されています。そのうえ、政府や電力会社はさらに原発を増やそうとしています。こうしている間も放射能は放出され続け自然環境が汚染されています。それは同時に、安心・安全な食べものをも得られなくなるということでもあります。こんな多くの心配を抱え込む暮らしより、原子力に頼らない暮らし、省エネルギーを進め、政府や電力会社に働きかけを行っていくことが大切だと思います。豊かな自然や地球上のすべての生命を守るために「脱原発社会」をめざしましょう。

グリーンコープ共同体組織委員会

いま地域を考える

No.191

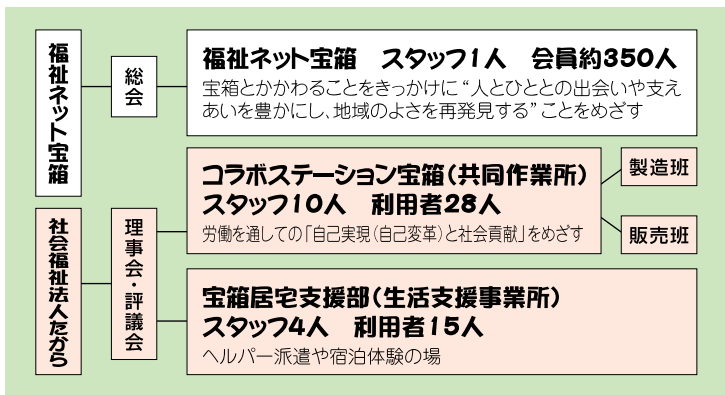
人と人とのつながりは地域の宝物



コラボステーション宝箱の前で。覚知さん(左から2人目)・成清さん(中央)



クッキー作りのようす



福祉ネット宝箱（以下宝箱）は、歴史と文化の薫る水郷柳川市にある。宝箱は、障がいを持つ人たちとのふれあいをもとに、地域のネットワークをつくり、住みよい社会をめざす会員組織だ。1997年に発足し、翌年共同作業所を設立。1998年と1999年、旧グリーンコープ生協ちくご（現グリーンコープ生協ふくおか）の福祉活動組合員基金の助成を受けた。

宝箱から生み出された「社会福祉法人たから」の共同作業所「コラボステーション宝箱」の利用者・成清恵規さんと、宝箱の立ち上げからかかわってきた覚知康博さん（グリーンコープ生協ふくおか組合員）に話を聞いた。



宝箱は、「障がいを持つ人が家の中でひとりぼっちということがなければいいなあ」という素朴な願いがそのまま理念となつて会員40人の市民組織としてスタートした。そして、約10年で300人の会員を有する組織へと飛躍し、社会福祉法人の共同作業所と生活支援事業所を生み出した。

共同作業所である「コラボステーション宝箱」では、一日平均20人ほどの仲間が、クッキーの製造販売、パソコンを使った名刺や会報作りなど、さまざまな業務を請け負っている。

毎月発行する宝箱の会報は、会員だけでなく地域へも発信する。もちつき大会やバーベキュー大会など、大きなイベントを開催し、地域との交流も積極的に深めている。

問題を抱えがちな人を受け入れる

「とにかく地域に自分たちの手で作業所を作ろう」。発足当時は、共同作業所が存在すること自体が地域運動だった。

1998年9月、六畳二間のアパートに作業所を開設。受け入れ先がどこにもない、知的・身体・精神の重度の障がい者を受け入れることにこだわった。昼の部屋に常時12〜13人。座る場所しかなかった。その中でひしめき合いながら共に過ごす時間を大切にできた。成清恵規さんは創立時からのメンバーだ。仲間の中でも特に身体障がいが多い。車イスが使えない昼では、作業中に転んでしまうこともしょっちゅうだった。

「まーくた倒れてら。おや？珍しく笑ってないな、と思つたら額から血を流して大慌て！なんてこともありました」。覚知さんが愉快そうに話すと、成清さんは体をよじつて大笑いする。そんな成清さんは、会報に自分の思いを綴ってきた。彼の思いの一つひとつが仲間

ちの地で暮らすこと。お風呂に入るなど、日常生活の流れを自分たち自身で体験する。3人で米を3合

地域の中で暮らすこと

現在は利用者28人が2つのグループに分かれ、クッキーの製造と販売を担当している。商店街の中にあるクッキー販売の拠点は仲間同士の宿泊体験の場ともなっている。作業を終えると、食事を作る、掃除をする、お風呂に入るなど、日常生活の流れを自分たち自身で体験する。3人で米を3合

「その頃はバザーの売り上げが1万円でも減ると運営が危ない！」という状況。そのくらい逼迫していた。少し目を離すとケガをしたり、花瓶の水を飲んだり、人がいたり。それでも作業所があることが大事だった。今思うと滅茶苦茶だけどたのしかったですね」。覚知さんは、混沌の中にも深い一体感や充実感があつた創成期に思いを馳せる。その後利用者が増え、現在の場所へ移転、作業所の名称「コラボステーション宝箱」となり、なくてはならない拠点となつていった。

「その頃はバザーの売り上げが1万円でも減ると運営が危ない！」という状況。そのくらい逼迫していた。少し目を離すとケガをしたり、花瓶の水を飲んだり、人がいたり。それでも作業所があることが大事だった。今思うと滅茶苦茶だけどたのしかったですね」。覚知さんは、混沌の中にも深い一体感や充実感があつた創成期に思いを馳せる。その後利用者が増え、現在の場所へ移転、作業所の名称「コラボステーション宝箱」となり、なくてはならない拠点となつていった。



成清さんが会報に掲載している人交（フ）ムを綴るために使っている障がい者用マウス

2005年、深刻な運営のピンチが訪れた。実質上、国からの助成カットである障害者自立支援法が成立、翌年施行されたのだ。覚知さんたちはバザーや映画会、個人や団体に寄付を募り、日夜資金繰りに奔走した。会員になつて支えてくれる人、大切に貯めたお金をそのまま寄付してくれた人も

新たな展開を模索する

2003年からは作業所だけでなく、居宅サービスとしてヘルパー派遣事業をスタート。そのきっかけは、成清さんが家を出て、一人暮らしをはじめたことだった。外出の付き添いとしてのガイド派遣事業も開始。地域の中で暮らすということが、現実には広がりはじめた。

吹くことを半年かけてマスターするなど、ゆつくりとしたペースで経験を積み重ねていく。それは、障がい者が地域の中で暮らすことへの第一歩となるのだ。2003年からは作業所だけでなく、居宅サービスとしてヘルパー派遣事業をスタート。そのきっかけは、成清さんが家を出て、一人暮らしをはじめたことだった。外出の付き添いとしてのガイド派遣事業も開始。地域の中で暮らすということが、現実には広がりはじめた。

2009年5月の組合員数 402344人

(5/29現在)

リユース リサイクル データ 2009年4月分

牛乳びん	リユースびん	トレー	モールドバック
回収本数 1,074,105本 回収率 100.5%	回収本数 234,472本 回収率 75.7%	回収重量 11,695kg 回収率 57.5%	回収重量 34,090kg 回収率 106.2%

(2月15日～3月14日回収分)

放射能汚染測定結果報告(188)

2009年4月

放射能汚染食品測定室検査。
NDは、検出限界値(1ベクレル/kg)以下です。
※は、グリーンコープ連合取り扱い商品です。
「しいたけほだ木」は、福岡県産しいたけを栽培した「ほだ木」です。

検体名	産地	セシウム134	セシウム137	合計ベクレル/kg
※ 乾燥しいたけ	九州	ND	ND	ND
※ ソフトマーガリン	国内	ND	ND	ND
※ 純正ごま油	中国	ND	ND	ND
※ エコシュリンプ	インドネシア	ND	ND	ND
※ ししやも	アイスランド	ND	ND	ND
※ さば	ノルウェー	ND	ND	ND

「地域の中で人のつながりがどんどん薄れていく中で、新たなつながりを作り出していく。ほんとうに成熟した社会は、身近な自然の中で家族や友人と過ごし、地域の活動の中で、多様な人たちと触れあうことから生まれるのではないのでしょうか。宝箱はそのための新たな活動スタイルを模索中です」。覚知さんは少し照れながら、夢を語る。地域には宝物がまだまだ埋もれたままなのかもしれない。宝箱はこれからも豊かな地域の宝を掘り起こしていくだろう。